

# 群馬県における産業動物獣医師 確保対策について

## 1 群馬県獣医師職員採用状況

年度	試験年度	採用時年齢上限	採用予定人員	受験者	最終入庁人数(農政部)	充足率(入庁者/採用予定者)	農政部獣医師(産休・育休・再任を含む)
H15	H14	30	5	7	4(4)	80.0%	80
H16	H15	30	5	8	3(2)	60.0%	76
H17	H16	30	5	8	3(1)	60.0%	74
H18	H17	30	3	4	2(1)	66.7%	72
H19	H18	32	5	6	4(3)	80.0%	73
H20	H19	32	4	2	1(1)	25.0%	70
H21	H20	36	8	8	5(3)	62.5%	69
H22	H21	36	6	6	3(2)	50.0%	69
H23	H22	36	6	14	7(5)	116.7%	71
H24	H23	36	4	17	7(3)	175.0%	70
H25	H24	36	4	14			

採用年齢の引き上げ(30歳→32歳→36歳)  
 H22から「上級」→「選考考査」(専門試験なし)  
 今後10年間で58人定年退職+早期退職  
 家畜防疫上、最低限、現状維持するために確保が必要

## 2 獣医系大学へのリクルート活動

年度	H21	H22	H23	H24
実施大学数 (参加者数)	6大学 (33)	7大学 (56)	5大学 (46)	6大学 (49)
説明会実施大学: 北大、酪農学園大学、北里大、岩手大、 日本獣医生命科学大、日本大、麻布大				

## 3 農政部獣医師職員待遇改善

- ・～H15: 獣医師業務手当(月額13,000円)
- ・H15～: 家畜衛生研究所獣医師職員「調整額」2
- ・H16～: 家畜保健衛生所獣医師職員「調整額」1
- H22～: 調整額1→1.5

## 4 行政体験研修(県単独・中央畜産会事業)

	H22	H23	H24
受入人数	10(6)	13(3)	18(3)

\* ( )内は中央畜産会事業受入人数

## 臨床現場の産業動物獣医師確保の取組

- 1 獣医師養成確保修学資金貸与事業  
 平成22年度から実施(現在12名貸与)  
 平成32年度までに30名産業動物獣医師確保
- 2 産業動物獣医師問題県域協議会  
 (1) 獣医系大学生、高・中学生に対して産業動物獣医師の情報発信  
 (2) 県内獣医療提供の現状・問題点の検討  
 (3) 「群馬県における獣医療を提供する体制の整備を図るための計画」の検証
- 3 ぐんま産業動物獣医師獣医師バンク  
 求人登録6件  
 求職登録5人  
 相互の情報共有化